

米山奨学委員会担当例会

「政局放談」

令和3年10月27日(水)

前衆議院議員 渡海紀三朗様をお招きし、昨今の政治情勢について卓話をいただきました。



前衆議院議員
渡海 紀三朗 様



米山奨学委員会
中谷 利幸 委員長

例会記録 2021.10.27 (水) 通算 2006 回

ソング 「奉仕の理想」「四つのテスト」

出席報告	10月6日	会員数40名 欠席者6名 (この内出席免除者17名)	出席率 81.82% (修正による)
	10月27日	会員数40名 欠席者4名 (この内出席免除者17名)	実出席者数 27名 出席率 80.70%

本日のゲスト 前衆議院議員 渡海 紀三朗様



幹事報告 Secretary

幹事報告 第11回 (通算2006回)

1. 吉岡ガバナーより
20日の公式訪問についてのお礼文が届いています。
2. 地区より
ロータリー研修デーの御案内が届いています。
3. ガバナー会事務局より
第1回会長主催会議のYoutube視聴についてご案内が届いています。
4. ロータリー日本100年史編纂委員会より
「ロータリー日本100年史」頒布促進のお願いが届いています。
5. その他
日経新聞10月22日(金)朝刊の掲載広告を添付しています。



回覧いたしますので御確認下さい。

来週11月3日は休会となっています。10日の例会は、地区ロータリー財団の丸尾研一委員長の卓話となっていますので、多数のご出席をお願いいたします。

会長の時間

President

今日は、先日 吉岡ガバナーより頂いた、伊丹RC 深川純一様のロータリー 3分間情報の中から「ロータリーとは？」と言うお話を抜粋させて頂きました。

ロータリーとは何か、と問い掛けられた場合に、それは、ロータリアンのことではありません。また、ロータリークラブのことでもありません。国際ロータリーのことでもないのです。これらは、全て目に見えるものであります。

ところが、ロータリーと言うものは、目に見えないもの、即ちロータリーと呼ばれる一定の質の思想のことです。では、ロータリーの思想とは一体何か、思想の実態としてのロータリーとは何か。



1923年のセントルイス国際大会における「決議第23-34号」の冒頭第1項には、『ロータリーとは、利己と利他との調和を目的とする人生の哲学である』と規定されています。

では、この具体的な意味内容とは何か、と言いますと、クラブ定款第4条の「ロータリーの綱領」を見るとその意味内容が明らかになるのであります。即ち、綱領の本文には、ロータリーとは、企業の根底に奉仕をおくべしとする理想を追求する事を目的とするクラブ活動のことである。と言う趣旨のことが規定されています。この『企業の根底に奉仕を置く』というところが中心概念であります。ところが、資本主義経済社会においては、企業の目的は利潤の追求でありますから、企業の根底には『儲け』があるわけです。

では、ロータリーは、儲けを否定するのと言うと、否定はしないのであります。

ここが大事なところでありまして、もし儲けを否定しますと、ロータリーは、訳の解らないある種の宗教団体のような、非常に倫理的統制の強い団体になってしまうのであります。

ロータリーは、企業の根底に儲けがあることを認めた上で、『それでは儲けとは一体何か』と考えるわけがあります。例えば、100円の物を仕入れて100万円で売ったとすれば、果たしてこの様な利益をロータリー的な意味での儲けと呼べるのでしょうか。法律的に見れば、これは暴利であります。商人もやはり儲けなければ幸せな人生を築くことは出来ないのですが、それには限度があって、適正な利潤を超えて儲けてはなりません。適正な利潤を超えて商人が儲けると言うことは、お客様が不幸になることを意味するのです。従って、商人は代金(儲け)を受け取って幸せになるが、お客様もその商品を買って幸せになるという、両者の調和点が何処かになければなりません。これを抽象的な表現で表すと、『利己と利他との調和』と言うことになります。『ロータリーの奉仕』というのは、実はこのことを言うのであります。これがロータリー思想の実体であります。

深川純一様 ロータリー 3分間情報より

私なりの解釈で、ロータリーとは。

自己の職業に忠実に誠意を持って行い、お客様に喜んで頂く様な仕事をして、利益を頂く。

と言うのがロータリーの第一歩なのではないでしょうか。

私も、今まで以上に自分が出来ることは、誠意を持って奉仕に勤めたいと思います。

ニコニコ報告

Donation

村上 則宏・櫻井 宣孝・西田 光衛
廣瀬 明正・内海 薫・大橋 卓司
佐野 栄作・吉川 弘・志方 正昭
青柳 淳・原 久美・京谷 慎平
田中 浩行・入江 啓太・三枝 丈次
庄司 武・松下 和雄・濱田 喜重
井野 隆弘・森本 匡裕

中谷 利幸

本日は米山奨学月間です。本来なら米山梅吉氏功績等について卓話するべきですが、今回事業計画の段階から一部会員から、高砂市長の講話は聞く機会があります。渡海代議士に講話を一度お願いしてはとの意見が有り、本日実現致しました。「今後の政局について」渡海先生よろしく。



渡海紀三朗様ようこそ青松R.C.へ。日本の未来への責任をはたされますように応援しています。頑張ってください。

◇ プログラム予定 ◇

11月 10日 (水)	卓話 地区ロータリー財団 丸尾研一委員長 【ロータリー財団委員会担当】
11月 17日 (水)	卓話 ハリマニックス㈱代表取締役 菱田好美様 【クラブ会報・広報・記録委員会担当】
11月 24日 (水)	休会【定款第7条第1節(d)による】
12月 1日 (水)	上期事業報告

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長 松下和雄 幹事 入江啓太 クラブ会報・広報・記録委員長 坂口嘉久

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500